

事務事業名		埋蔵文化財調査事業		会計	一般会計				
課等名		生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第2係	事業種別	経常	開始	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり						
	施策	61	地域資源の発見・資産化						
目的	対象(誰・何を)	埋蔵文化財包蔵地			対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	埋蔵文化財包蔵地内で計画されている国・県・市及び民間等の土木工事等について、十分な保護措置を講ずる				飯田市の埋蔵文化財包蔵地数〔遺跡、古墳、城跡等、寺院跡、居館跡、窯跡、その他〕(数)		1230	
	向上させたい上位施策の成果指標	①活用できる状態が整った地域資産の数							
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	記録保存された埋蔵文化財包蔵地(単年度:数)			12	16	18	20	
	定性目標								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 国民の財産である埋蔵文化財を保護する目的で諸開発に伴い、試掘・発掘・整理を実施する。 国・県で計画されている公共事業については年1回、市部局等で計画されている公共事業について年2回事業照会を行い、計画の内容や採るべき保護措置について協議を行う。 簡易圃場整備および個人住宅建設に伴う調査等については国庫補助制度があり、補助対象となるものについて交付申請をし、交付決定されたものについて事業を行う。 発掘調査を実施した遺跡については、その成果を見学会等により市民に還元し、併せて文化財の保護に対する市民理解を涵養する。 これまで蓄積された埋蔵文化財情報を基に、市内遺跡の遺跡分布範囲の見直しを行う。 								
事業内容					名称		活動指標		
24年度事業内容	1 簡易圃場整備事業および個人住宅建設に先立つ調査 名古屋上遺跡・松尾明遺跡・入野遺跡・方角東遺跡・北方西の原遺跡・がにが原遺跡・三尋石遺跡・松尾城遺跡				1 調査件数	1 8遺跡			
	2 国事業に伴う調査 該当なし				2 調査件数	2 0遺跡			
	3 県事業に伴う調査 上山遺跡群、北方西の原遺跡、秋葉街道・磐座調査				3 調査件数	3 3遺跡			
	4 市事業・民間開発に伴う調査 飯田城下町遺跡、箕瀬遺跡、黒田八幡原遺跡、小垣外・辻垣外遺跡、大休下遺跡				4 調査件数	4 5遺跡			
	5 市内遺跡の遺跡分布範囲の見直し				5 見直した地区	5 2地区			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		13,576	47,628	46,677	55,953	(国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2)			
国庫支出金		2,950	2,950	2,950	2,950	(県)文化財保護委託金(埋文発掘)			
県支出金		0	4,304	4,302	4,692	(そ)諸収入 埋蔵文化財調査受託事業収入			
起債									
その他		3,081	32,186	32,180	40,488				
一般財源		7,545	8,188	7,245	7,823				
人件費計(千円)②		5,364		16,092					
正規職員所要時間		1,500		4,500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		18,940	47,628	62,769	55,953				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・座光寺・上郷地区の遺跡分布図の見直しが見直しができた。 								
改革改善の考え方	①問題点	市内遺跡の遺跡分布範囲が実態と合わなくなっており、見直しの作業を行ってきた。その成果を広く周知して十分な文化財保護措置を図る必要がある。							
	②改革提案	遺跡調査報告書の改訂版の刊行により周知を図る。さらに、インターネット上で遺跡範囲を確認でき、誰もが気軽に情報を共有できるシステムの構築について検討する。							